

2023年2月10日

住友林業株式会社

建設業界の「脱炭素設計サポート事業」開始 ～環境認証ラベル EPD 取得・建物の CO2 排出量算定を支援～

住友林業株式会社（社長：光吉 敏郎 本社：東京都千代田区）は2月10日、木材・建材メーカー様向けに環境認証ラベル EPD^{※1} 取得推進事業と、デベロッパー・ゼネコン・設計事務所様向けに「One Click LCA^{※2}」算定受託事業を開始します。本事業を通じて建設業界全体の脱炭素設計をサポートします。

※1 EPD（Environmental Product Declaration）：資源採取から廃棄までの、製品の全ライフサイクルにわたる CO2 排出量を見える化した ISO 準拠の環境認証ラベル。

※2 One Click LCA：建物のライフサイクルにわたる CO2 排出量等を見える化するソフトウェア。

【背景】

全世界の CO2 排出量に占める建設部門の割合は約 37%^{※3} と言われており、建設業界における脱炭素化の取り組みが求められています。脱炭素化に向けて、ZEH や ZEB 等の普及により「暮らすときの CO2 排出量（オペレーショナル・カーボン）」の削減は進んでいます。一方で「建てるときの CO2 排出量（エンボディード・カーボン）」の削減は十分ではなく喫緊の課題です。当社は 2022 年 8 月に「建てるときの CO2 排出量」等を見える化するソフトウェア「One Click LCA」日本版を販売し、現在デベロッパー・ゼネコン・設計事務所様など様々な企業にご利用いただいています。

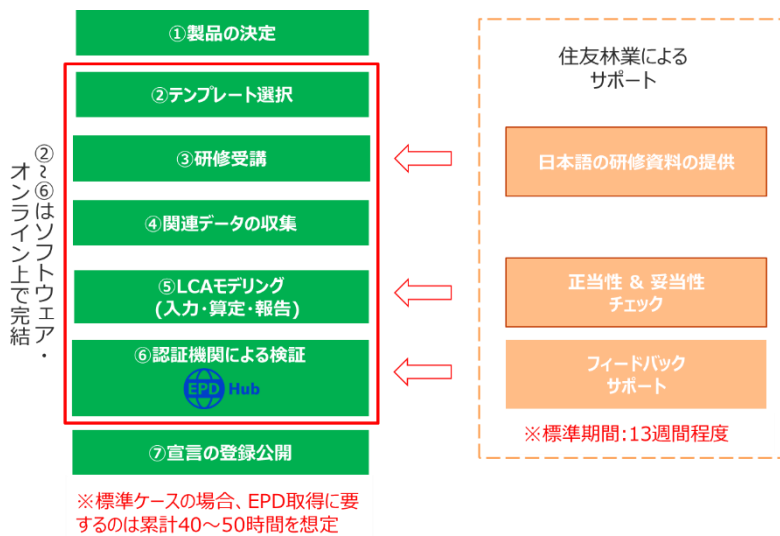
今後、欧州では建設業界の CO2 排出量削減に向けた規制が強化され、2030 年までにすべての木材・建材に温室効果係数のデータ開示が求められる方向で進んでいます。このような動きは日本にも波及し、建設業界からメーカーに対して CO2 排出量の開示要請が増えることが予想され、環境認証ラベル EPD の取得・普及を業界全体で推進する必要があります。現状では、環境認証ラベル EPD 取得にかかる費用や作業負担が大きいため、木材・建材メーカー様をサポートし、より取得・普及を推進していくことが重要です。

※3 出典 global alliance for building and construction（2021）

【脱炭素設計サポート事業の概要】

1. EPD 取得推進事業（木材・建材メーカー向け）

- EPD 取得ソフトウェア「EPD ジェネレーター」の日本版を販売。
2023 年 2 月より One Click LCA 社が提供する「EPD ジェネレーター」日本版を発売開始しました。EPD を取得する際には、投入する資材や製造に関わるエネルギー等のデータを集計する必要があります。このソフトウェアを利用することで、その作業の省力化と取得にかかるコストを低減できます。ソフトウェアに設定してある項目に必要情報を入力することで、ISO21930 に準拠した環境認証ラベル EPD の取得申請手続きを、ソフトウェア上で完了することができます。
- EPD 取得に関する研修や申請作業のサポートを提供し、木材・建材メーカー様と共に EPD 製品のマーケティング活動、普及に向けて取り組みます。

【EPD ジェネレータによる EPD 取得フロー】

2. 「One Click LCA」算定受託事業（デベロッパー・ゼネコン・設計事務所など向け）

当社がソフトウェア「One Click LCA」を使用し、個別のプロジェクトに対する CO2 排出量を算定します。建物の資材データを元に、建物全体・資材別・部位別・ライフサイクル毎など、建てるときの CO2 排出量を算定しレポートを作成・提出します。ソフトウェアを購入せずにプロジェクト単位で算定を希望する方を含めたあらゆる事業者の「建てるときの CO2 排出量(エンボディード・カーボン)」の見える化・削減をサポートします。

【One Click LCA ソフトウェアの特長】

建物に使用する資材データを元に「建てるときの CO2 排出量(エンボディード・カーボン)」などを効率的・精緻に算定できます。国際規格 ISO に準拠し、LEED など 50 以上の世界のグリーンビルディング認証に適合しています。

(参考) One Click LCA サイトページ : <https://sfc.jp/treecycle/value/oneclicklca.html>
過去リリース : <https://sfc.jp/information/news/2022/2022-08-08.html>

【住友林業が目指すこと】

住友林業グループは 2022 年 2 月に長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を発表し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速しています。森林経営から木材建材の製造・流通、戸建住宅や中大規模木造建築の請負、不動産開発、バイオマス発電まで「木」を軸にした住友林業のバリューチェーン「ウッドサイクル」を回すことで、森林の CO2 吸収量を増やし、建築での木材活用で炭素を長く固定し続けることができます。「ウッドサイクル」を回し、自社のみならずお客様や取引先、そして社会全体への脱炭素化に貢献していきます。

以上

「リリースに関するお問い合わせ」

住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 鎌田
T E L : 03-3214-2270

「サポート事業に関するお問い合わせ」

木材建材事業本部 ソリューション営業部
T E L : 03-3214-3400